

## 取扱説明書



## MINIFBQ FBQ800

Ultra-Compact 9-Band Graphic Equalizer with FBQ

# JP 目次

ありがとう .....	2
安全にお使いいただくために .....	3
法的放棄 .....	3
限定保証 .....	4
1. はじめに .....	5
1.1 ご使用前に .....	5
2. 操作機構 .....	6
2.1 FBQ800 に関して .....	6
2.2 フロントパネル .....	6
2.3 リアパネル .....	10
3. セットアップ例 .....	11
4. オーディオ接続 .....	12
5. テクニカルデータ .....	13

## ありがとう

このMINIFBQ FBQ800はフィルター技術における長年に渡る当社の経験とノウハウを元に設計されました。

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついていきます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したのみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となる

もののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

**法的放棄**

技術的な仕様および製品の外觀は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関しても一切の責任を負いません。色およびスペックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代

JP

理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者也これを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

Trident Chambers, Wickhams Cay,

P.O. Box 146, Road Town, Tortola,

British Virgin Islands

---

## 限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 [www.music-group.com/warranty](http://www.music-group.com/warranty) にて詳細をご確認ください。

# 1. はじめに

当社のアナログおよびデジタルイコライザーは、世界中の有名なラジオ局やテレビ局、スタジオ、PA システムで使用されています。当社のその他の製品ライン同様、このMINIFBQ FBQ 800 も操作性、サウンド、テクニカルデータ、仕上げといった点で一切妥協のない品質をお届けしています。

## FBQ フィードバック検知システム

FBQ フィードバック検知システムは、当社のグラフィックイコライザー製品の中で最も優れた特徴の一つです。この回路には各周波数帯域フェーダー上にLED が備えられており、フィードバックを起す信号レベルを即座に検出します。かつては労働集約型だったフィードバック探しも、今では子供でさえマスターできる作業なのです。さらに、このMINIFBQ FBQ 800 はオーディオアナライザーとしての機能も持ち合わせています。

📖 取扱説明書を丹念に読み、読後も今後の参照のために手元に置いてください。

## 1.1 ご使用前に

### 1.1.1 出荷

FBQ 800 は、安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包されていますが、万が一包装ダンボールに損傷が見られた場合には、装置外面部の損傷もご確認ください。

📖 装置が万一損傷している場合には、保証請求権が無効となる恐れがありますので、製品を当社へ直接返送せず、必ず販売代理店 よび運送会社へご連絡ください。

📖 本製品の保管や運送の際には、製品への損傷を避けるため、常にオリジナルの梱包を使用するようにしてください。

📖 製品および梱包材などは、お子様の手の届かないところに保管してください。

📖 梱包材などの環境保護に適した廃棄をお心がけてください

### 1.1.2 スタートアップ

十分な換気の確保にご注意ください。またオーバーヒートを防ぐため、FBQ 800 をアンプの上や暖房器具などのそばには絶対に設置しないでください。FBQ 800 の電源接続には、必ず付属のパワーサプライを使ってください。

## 2. 操作機構

この章では、FBQ の基本的な操作を説明します:

- ▲ FBQ800 を使い (第 2.2 章フロントパネル)
  - ▲ FBQ 800 のセットアップ (第 2.3 章リアパネル)
- 👉 **FBQ800** のセットアップと操作は、必ず資格のある作業員のみが行うようにして下さい。

### 2.1 FBQ800 に関して

FBQ 800 はオーディオ信号の強さと質を変化させるためのグラフィックイコライザーです。より詳しく説明すると、FBQ 800 は、以下のような目的で使用します:

- ▲ オーディオ信号の均質化
- ▲ オーディオ信号の修正
- ▲ 低周波オーディオ信号の除去 (フィードバック、フロアノイズ、共鳴、電源ハム)

#### 入力音源

FBQ 800 はスタジオまたはハイファイ機器から信号を受信することができます。この機器にはミキサー、サウンドカード、CD プレイヤー、シグナルプロセッサなどが挙げられます。

ここでは、FBQ 800 が受信する信号は入力信号と呼ばれます。この入力信号を FBQ 800 に送るオーディオ機器は、入力音源と呼ばれます。

#### 出カターゲット

FBQ 800 はスタジオまたはハイファイ機器に信号を送信することができます。この機器にはミキサー、サウンドカード、パワーアンプなどが挙げられます。

ここでは、FBQ 800 が送信する信号は出力信号と呼ばれます。FBQ 800 が送信するこの出力信号を受信するオーディオ機器は、出カターゲットと呼ばれます。

### 2.2 フロントパネル

この章では、FBQ 800 のフロントパネルの使い方を説明します:

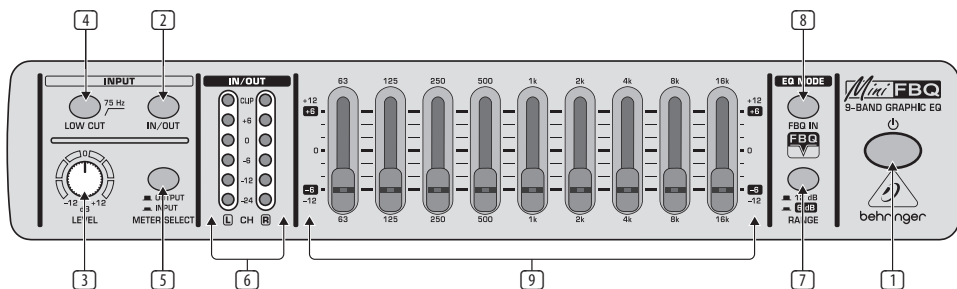


図 2.1: FBQ800 のフロントパネル

前のイラストでは、各コントローラーが呼出番号と関連付けられています。例えば、**[1]**。各コントローラーの詳細を確認するためには、この呼出番号を使用してください。これらの呼出番号の順番は FBQ800 のシグナルパスとなります。

- 👉 **FBQ800** を起動させる前に、LEVEL コントローラーを **-12** (最低の設定) まで絞りきってください。

- [1] **Ⓞ (パワー) ボタン**: FBQ 800 の電源オン/オフは、このボタンを使用して行います。表示される状態は:
- ▲ ボタンを押し、点灯する状態: FBQ 800 オン。
  - ▲ ボタンを押さず、点灯していない状態: FBQ 800 オフ。
- [2] **🔌 FBQ 800** を使用したあとは、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードがコンセントに接続されている間は、電力が消費されています。
- [2] **IN/OUT ボタン**: コントローラーの起動と解除は、このボタンを使います:
- ▲ ボタンを押し、点灯する状態: FBQ 800 がすべてのコントローラーを **起動**します。
  - ▲ ボタンを押さず、点灯していない状態: FBQ 800 はほとんどのコントローラーを **解除**します  
しかし、METER SELECT ボタン [5] と IN/OUT メーター [6] は使用可能です。
- すべてのコントローラー [2] を起動させた場合、コントローラー [3] と [4] を使って EQ 用の入力信号を以下のようにして準備してください:
- [3] **LEVEL コントローラー**: 入力信号のレベルを調節する時はこのコントローラーを - 12 dB (最低の設定) まで絞るか、逆に + 12 dB (最大の設定) まで廻してください。高レベルな音声信号は、サウンド及び機器に悪影響を及ぼす場合があります。
- 信号レベルの取り扱いに関する詳細は、第 [6] 章の **信号レベルの取り扱い方**をご参照ください。
- [4] **LOW CUT ボタン**: ローカットフィルターはこのボタンを使います:
- ▲ ボタンを押し、点灯する状態: ローカットフィルターが 75 Hz 以下のサウンド (フロアノイズ、共振、電源ハムなど) を除去します。
  - ▲ ボタンを押さず、点灯していない状態: ローカットフィルターはどのサウンドも除去しません。
- 入力信号もしくは出力信号をモニターする場合は、このコントローラーを使用します:
- [5] **METER SELECT ボタン**: モニターしたい信号の種類を選択する場合は、このボタンを使用します:
- ▲ ボタンを押し、点灯する状態: この信号が FBQ 800 に入り次第、**入力信号**をモニターします。FBQ 800 は、今あなたがモニターしている入力信号に対しては LEVEL コントローラーもその他のコントローラーも適用しません。
  - ▲ ボタンを押さず、点灯していない状態: この信号が FBQ 800 を通過次第、**出力信号**をモニターします。FBQ 800 は、今あなたがモニターしている出力信号に対して、すべてのコントローラーを適用します。しかしながら、ほとんどのコントローラー [2] を解除した場合、入力信号と出力信号は同一のものとなります。
- [6] **IN/OUT メーター**: METER SELECT ボタンで選択した信号のレベルをモニターする場合は、このステレオメーターを使用してください。このメーターの左 (L) と右 (R) 両側には、同一のデシベルスケール (- 24 dB ~ + 6 dB) があります。信号レベルが高すぎると、クリップ LED が点灯します。
- [2] **0 (ゼロ) dB** の場合でも、FBQ800 には約 15 dB ほどのヘッドルームがあります。

## 信号レベルの取り扱い方

最も良いのは、FBQ 800 の信号レベルを 0 dB に保つことです。しかし、信号が：

- ▲ 0 dB より低い場合、信号は完全ではありません。フロアノイズのレベルと信号レベル間の相違が十分でない場合、信号の質が失われてしまいます。
- ▲ 0 dB より高い場合、IN/OUT メーターにある CLIP LED が点灯します。FBQ 800 がオーバーロードされている可能性があります。しかし、クリップ LED がたまたま点灯する程度なら、音質に悪影響はありません。

信号は常に一貫した状態であるわけではないので、信号レベルを 0 dB に保持することはできません。しかし、信号レベルを常に調節することは可能です。つまり、それは入力及び出力信号のレベルをモニター／調節することです：

1. 中立的な環境で EQ 操作が行えるよう、すべての周波数フェーダー [9] を 0 dB に設定してください。
2. 予想に反して高い信号から FBQ800 を保護するために、LEVEL コントローラーを [3] から -12 dB に設定してください。
3. 入力レベルのモニターは、この説明書に記載されているように METER SELECT ボタン [5] と

IN/OUT メーター [6] を併用してください。入力レベルが 0 dB より高い、または低く、あなたが

▲ 入力音源の出力レベルを調節できる場合、FBQ800 の入力レベルが 0 dB になるまで入力音源の出力レベルを調節する

▲ 入力音源の出力レベルを調節できない場合、FBQ 800 の出力レベルを 0 dB にする：

A. すべてのコントローラーを起動させるには、IN/OUT ボタン [2] を使う。

B. FBQ800 の出力レベルをモニターするには、この説明書に記載されているように METER SELECT ボタン [5] と IN/OUT メーター [6] を併用してください。

C. FBQ800 の出力レベルをモニターしている間は、LEVEL ノブ [3] を使って FBQ800 の出力レベルを 0 dB に調節してください。

4. 周波数バンドフェーダーとその他のコントローラーがまだ起動していない場合は、IN/OUT ボタン [2] を使ってそれらを起動させてください。
5. 信号を均一にするためには、本取扱説明書に記載されているように EQ セクション [9] を使用してください。
6. 出力レベルのモニターは、この説明書に記載されているように METER SELECT ボタン [5]

と IN/OUT メーター [6] を併用してください。出力レベルが 0 dB より高い、もしくは低い場合、LEVEL コントローラー [3] を使って出力レベルを 0 dB に調節してください。

☞ 大抵の場合、0 dB が理想的な出力レベルとなります。しかしながら、場合によっては 0 dB より大きい、もしくは小さな信号が最適とされる時があります。

7. ステップ [3] と [6] にあるように、入力レベル及び出力レベルは定期的にモニターし、必要に応じて調節してください。

すべてのコントローラー [2] を起動させたら、[7] から [9] までのコントローラーを使って入力信号を EQ することが出来ます：

[7] RANGE ボタン: EQ フェーダーのレンジ設定は、このボタンを使って行います：

▲ ボタンを押し、点灯する状態：フェーダーレンジは -6 dB から +6 dB です

▲ ボタンを押さず、点灯していない状態：フェーダーレンジは -12 dB から +12 dB です



⑧ **FBQ IN ボタン**: FBQ フィードバック検知システムを操作する際は、このボタンを使用します:

- ▲ ボタンを押し、点灯する状態: FBQ フィードバック検知システムが起動しています。信号レベルが周波数バンド上で高い場合、フェーダー LED が明るく点灯します。さらに、その他のフェーダー LED が薄暗くなります。フィードバックを起こしそうな信号を弱めるには、周波数バンド ⑨ 上の高い信号をカットしてください。
- ▲ ボタンを押さず、点灯していない状態: FBQ フィードバック検知システムは起動していません。フェーダー LED が同じ状態で点灯を続けます。この時、フィードバック周波数は検知されません。

⑨ **EQ セクション**: すべてのコントローラー ② を起動させると、入力信号が EQ セクションへと流れます。このセクションで、入力信号の均一化を行います。つまり、特定のサウンドを形成するために必要となる特定の周波数を強調したり、弱めたりするのです。詳しくは、以下の「サウンドと周波数バンドに関して」をご覧ください。

#### 周波数バンドフェーダーに関して

EQ セクションには 9 つの周波数バンドが備えられています。これらの各周波数バンドの一つずつフェーダーが備えられており、各周波数のセンター周波数が該当フェーダーのすぐ上に表示されます:

▲ 63	▲ 500	▲ 4k
▲ 125	▲ 1k	▲ 8k
▲ 250	▲ 2k	▲ 16k

これらセンター周波数はヘルツ単位で記載されます。「k」の文字は「キロヘルツ」の略です。センター周波数は、一オクターブずつ上昇していきます。つまり、周波数バンドは同一の間隔によって分けられていることを意味します。

#### サウンドを周波数バンドに関して

EQ-ing を容易にするため、以下の図にいくつかの典型的なサウンドと周波数バンドを記載しています。図には、周波数を強調しすぎた際にサウンドにどのような変化が起こるのかも説明しています:

サウンド	周波数 (Hz)
AC 電源ハムノイズ; 音楽にパワーを与える楽器の基盤となる音、例えばベースドラムやチューバ、ダブルベースドラムやオルガンなど。強調すると「muddy」サウンドとなる。	31 - 63
低域シンガーのヴォーカル	40 - 125
電源によるハムノイズ; 低域のティンパニの基盤となる。強調しすぎると「ポーン」と大きな音になる。	80 - 125
第三倍音ハムノイズ; ヴォーカルの基盤; ドラムと低音ベース。強調しすぎると「ポーン」と大きな音になる。	160 - 250
ヴォーカルの質; 弦楽器や打楽器の基盤となる音	315 - 500
自然なヴォーカル; 弦楽器、キーボード、打楽器の基盤となる音やハーモニクス	630 - 1 k
声の摩擦音; 弦楽器、ドラム、ギターおよびベース。1 k から 4 k の間で強調しすぎると耳に不快となり、2 k から 4 k の間で強調しすぎると、マ音やバ音などがかき消されてしまう可能性がある。	1.25 k - 4 k
全体的な透明感と明瞭さ	1.25 k - 8 k
テープヒス、システムノイズ; シンバル、スネアドラム、打楽器; 透明感のあるサウンド	5 k - 8 k
テープヒスとシステムノイズ; シンバルと全体的な音の明るさ。強調しすぎると歯擦音が発生する。	10 k - 16 k

## サウンドの強弱のつけ方

サウンドを強める、または弱める際は、以下のことを行ってください。

1. サウンドが発生している周波数を確認し、それぞれのフェーダーを確認する。
2. もし:
  - ▲ サウンドを強調したい場合は、以下のどちらかを行ってください:
    - 該当するフェーダーを上昇させます。FBQ800 が該当する周波数バンドの信号レベルをブーストします。
    - 該当フェーダーを挟む周りの周波数バンドのフェーダーを下げてください。FBQ800 が周りの周波数バンドの信号レベルをカットします。
  - ▲ サウンドを弱めたい場合は、以下のどちらかを行ってください:
    - 該当するフェーダーを下げます。FBQ800 が該当する周波数バンドの信号レベルをカットします。
    - 該当フェーダーを挟む周りの周波数バンドのフェーダーを上げてください。FBQ800 が周りの周波数バンドの信号レベルをブーストします。

☞ 信号レベルをブーストせずにカットしたい場合は、十分なヘッドルームを残し、高い信号レベル(クリッピング)からオーディオ機器を保護してください。

## 2.3 リアパネル

この章は、FBQ 800 のセットアップに関して必要な事項を説明しています。

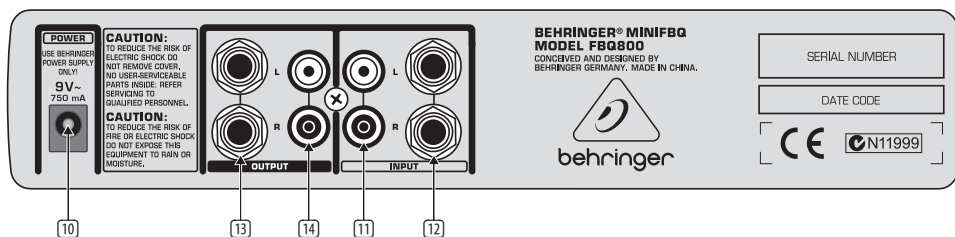


図 2.2: FBQ800 のリアパネル

☞ FBQ800 にパワーサプライを接続する前に、装置の (パワー) ボタンをオフにして下さい。

☐ 10 POWER コネクター: FBQ 800 に電源供給する場合は、パワーサプライをこのコネクターに接続してください。パワーサプライは FBQ 800 に付属しています。

FBQ 800 に入力信号を送る場合は、以下の入力端子を使用します:

☐ 11 RCA INPUT, L (左) および R (右): RCA ピンジャック用

☐ 12 6.3 mm TRS INPUT, L (左) および R (右): TRS (ノバランス型) ステレオフォンジャック、または TS (アンバランス型) フォンジャック用

RCA ピンジャックと TRS ステレオフォンジャック入力を同時に使用した場合、FBQ800 は TRS 入力 12 から信号のみ受信します:

- ▲ ステレオ信号で作業する場合は、L と R の両コネクターを使用します
- ▲ モノ信号で作業する場合は、L または、R どちらか一方のコネクターを使用します

FBQ800 から出力信号を送る場合、以下の種類の出力を使用することができます：

- [13] 6.3 mm TS OUTPUT, L (左) および R (右)：TS (アンバランス型) フォンジャック用
- [14] RCA OUTPUT, L (左) および R (右)：RCA プラグ用
- TS フォンジャックと RCA ピンジャック出力の両方を同時に使用することができます。L および R の両コネクタを使用するかどうかは、FBQ800 が受信する入力信号によって決定します。FBQ800 が：
- ▲ ステレオ信号を受信する場合、L と R の両出力コネクタを使用します。出力信号もステレオ信号となります。
  - ▲ L 入力を介してモノ信号を受信する場合は、L 出力コネクタのみを使用してください。出力信号もモノ信号となります。
  - ▲ R 入力を介してモノ信号を受信する場合は、R 出力コネクタのみを使用してください。出力信号もモノ信号となります。
- [15] シリアルナンバー：お手持ちの FBQ800 を登録する際は、このシリアルナンバーを記載してください。

オーディオ端子に関する詳細は、第 4 章オーディオ接続をご覧ください。

### 3. セットアップ例

以下に、オーディオセットアップにおける FBQ800 役割を図で説明します：

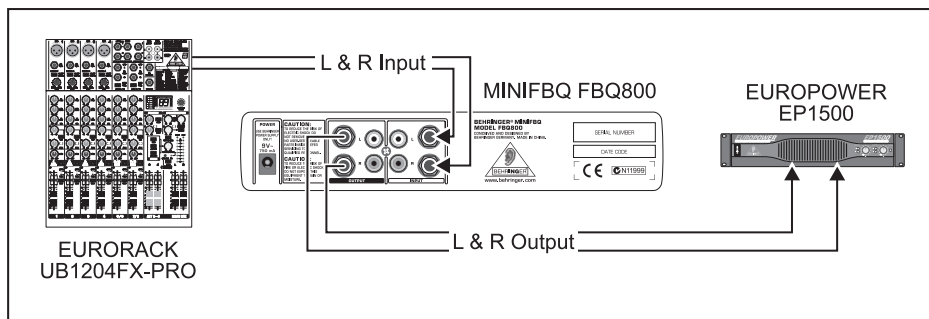


図 3.1: セットアップ例

前の図は FBQ800 をどのように使用できるかという信号例を記したものに過ぎません。FBQ800 をミキサーのインサートパスにセットアップすることも可能です。

#### その他の MINI 製品とのセットアップ

FBQ800 は BEHRINGER 製品 MINI シリーズに属する一製品です。FBQ800 を同シリーズの製品と組み合わせて使用することも可能です。詳しくは、第 6 章 その他の MINI 製品をご参照ください。

## 4. オーディオ接続

オーディオ機器と FBQ 800 の接続は以下のタイプのケーブルで行うことができます：

- ▲ RCA (アンバランス型)
- ▲ 6.3 mm TS (アンバランス型)
- ▲ 6.3 mm TRS (アンバランス型)

これらのプラグの図はこのようになります：

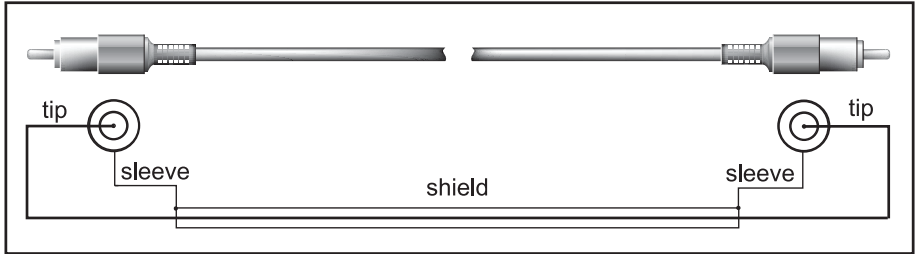


図 4.1: RCA ピンジャック

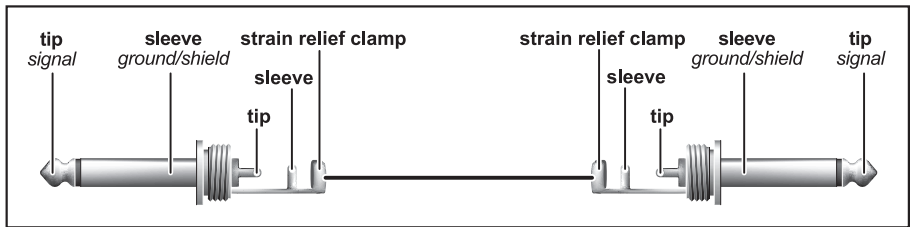


図 4.2: 6.3 mm TS フォンジャック



図 4.3: 6.3 mm TRS ステレオフォンジャック

FBQ 800 のコネクターに関しては、第 2.3 章リアパネルをご参照ください。

他の **MINI** 商品の設置に関する紹介

FBQ800 は BEHRINGER 商品の MINI セット 部分に属します。これらの商品で FBQ800 を設置することが出来ます。詳細に付き、6. その他の **MINI** 商品ご参照ください。

## 5. テクニカルデータ

入力	
タイプ	6.3 mm TS フォンジャック (アンバランス型) または RCA ピンジャック (アンバランス型)
インピーダンス	約 20 k $\Omega$ バランス型 約 10 k $\Omega$ アンバランス型
CMRR	40 dB typ. @ 1 kHz
最大入力レベル	+15 dBu
出力	
タイプ	6.3 mm TS フォンジャック (アンバランス型) または RCA ピンジャック (アンバランス型)
インピーダンス	約 120 $\Omega$
最大出力レベル	+15 dBu
システムスペック	
周波数レスポンス	10 Hz ~ 200 kHz, -3 dB
ダイナミックレンジ	110 dB, 10 Hz ~ 22 kHz
歪み率	0.003 % typ. @ 0 dBu
クロストーク	< 80 dBu @ 1 kHz
S/N 比	10 Hz - 22 kHz < 95 dB @ 0 dBu, A-weighted
グラフィックイコライザー	
タイプ	9 アナログステレオバンド
コントロールレンジ	$\pm 6$ dB または $\pm 12$ dB、切替可能
バンド幅	1 oct.
その他の性能	
ローカットフィルター	75 Hz (12 dB/oct.)
入力レベルコントロール	-12 dB ~ +12 dB
電源	
電源接続	外部電源、9 V ~ / 750 mA
電源電圧	
米国/カナダ	120 V ~, 60 Hz
英国/豪州	240 V ~, 50 Hz
中国	220 V ~, 50 Hz
欧州	230 V ~, 50 Hz
日本	100 V ~, 50 - 60 Hz
消費電力	約 7 W
寸法/重量	
寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	約 48 mm x 242.6 mm x 120 mm
重量	約 0.39 kg



We Hear You